

イワウベツ川No3,No7ダムについて

北海道森林管理局

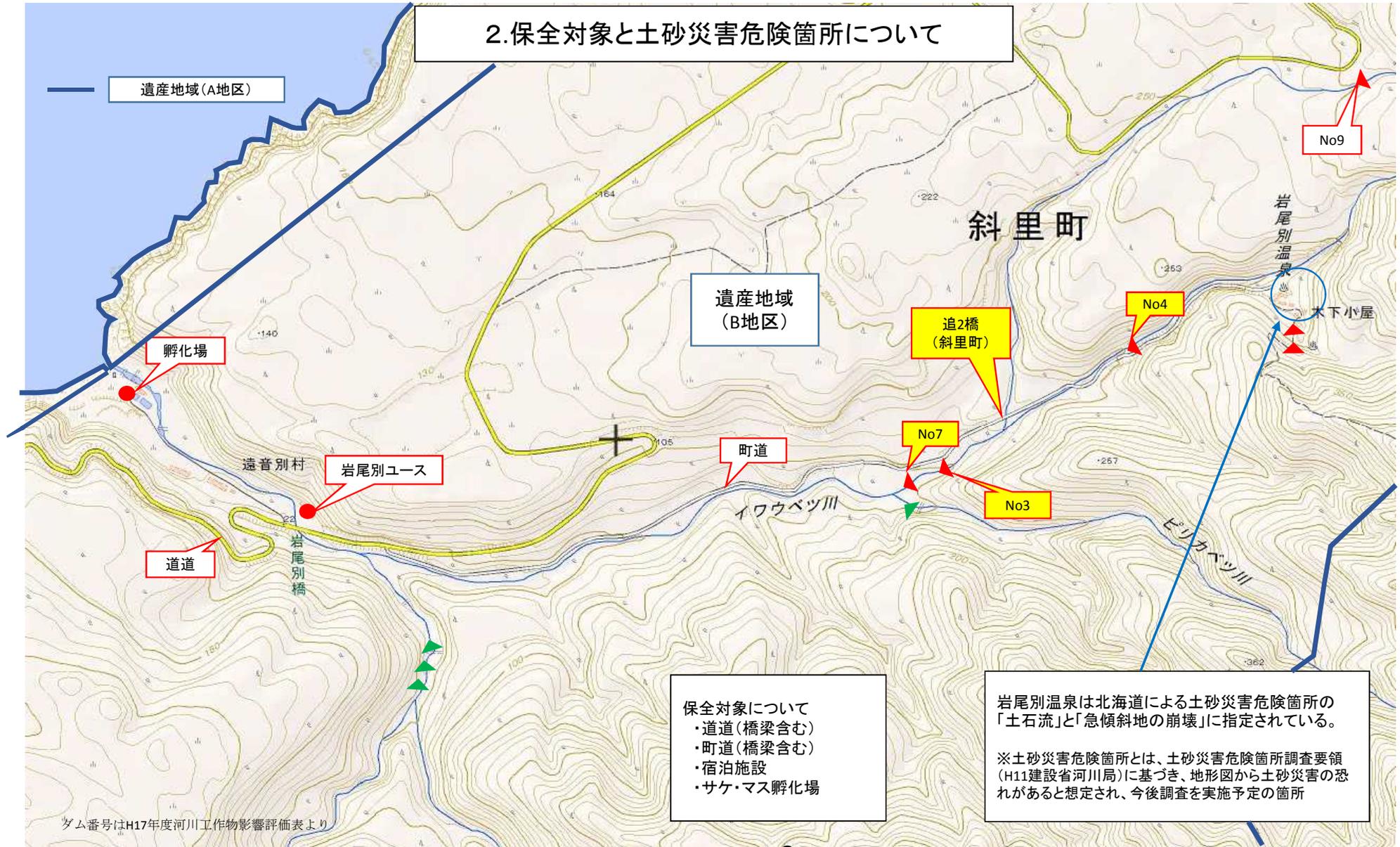
1. 第2次検討ダムのレビューについて

影響評価の実施(2005~2007年)		イワウベツ川				
主項目	調査項目/評価項目	本流			盤ノ川	
		7(林)	3(林)	4(林)	追2橋(斜)	
第1次検討結果	1. 河川工作物以外の遡上、生息阻害の有無	滝(落差)	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし
	ph	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし
		主項目1の評価	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし
	2. 河川工作物が主原因か	河川工作物の落差と越流水深	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難
		プール水深と広がり	遡上可能	遡上可能	遡上可能	どちらともいえない
		主項目2の評価	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難
	3. 上流の遡上・産卵・生息環境の有無	水面幅(平水時)	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
		水深(平水時)	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
		河床の組成	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
		河川形態	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
		濁水の混入の有無	なし	なし	なし	なし
		水温	環境あり	—	—	環境あり
		河川内の礫上のスギゴケの有無	なし	なし	あり	—
		湧水	—	—	—	—
		河畔林率	大	大	大	小
		枝沢の有無	なし	なし	なし	なし
		主項目3の評価	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	滞留土砂量	中	中	小	中
		土砂生産源	中	中	大	中
	5. 下流域の保全対象の状況	保全対象の重要性	高い	高い	高い	
6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	産卵床の保全性	中くらい	中くらい	中くらい	中くらい	
	生態系の保全性					
その他参考事項		過去に10~15年おきに土石流が発生。昭和54、56年に激甚災害を受けている。ダム堆砂数には土石流による巨礫が過積している。	過去に10~15年おきに土石流が発生。昭和54、56年に激甚災害を受けている。	昭和54、56年に激甚災害を受けている。直上流には土石流による巨礫が貯留している。		
7. 工作物改修等に伴う防災機能等への全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価	現状維持が適当	下流側の工作物(7.3)の「現状維持」と併せて考えて現状維持が適当。	下流側の工作物(7.3)の「現状維持」と併せて考えて現状維持が適当。		
第2次検討	レビュー	<ul style="list-style-type: none"> ・支流(赤イ川、ピリカベツ川)において6基(町の1基を含む)のダム改良工事を実施 ・No.7ダム下流が河床低下 ・斜里町等が本流の下流で河川環境改善事業を実施しており、本河川の環境改善については既に地域で一定の合意がある ・土石災害防止のためにはNo.7、No.3ダムは引き続き重要であるものの、上流にはNo.4ダム(本流)、No.9ダム(盤ノ川)もある ・魚道などによる改良が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・上流域は高水温の影響でオショロコマの生息環境が少ない ・下流のNo.7、No.3ダムのスリット化等を行う場合には、土石災害防止機能の役割がさらに大 	<ul style="list-style-type: none"> ・上流にはオショロコマが生息 ・上流での産卵環境拡大が見込まれ、かつ町道に影響を及ぼさないことを前提に、No.7とNo.3ダムの改良検討に応じて検討を行うことが可能 		
	検討結果	改良検討対象	現状維持	改良検討対象		

第一次検討
H17(2005)年~H19(2007)年のレビュー結果について

第二次検討
H26(2014)年のレビュー結果について

2.保全対象と土砂災害危険箇所について



3.イワウベツ川No3,No7ダム改良方針決定までの道筋について

1 ダム改良方針の検討のための調査の実施
レビュー項目についての現状や保全対象の情勢変化等について調査を行い、調査結果をもとにダムの改良方針を検討する。
調査は来年度前半までに終了できるよう計画的に進める。

今年度調査項目
(今年度既に発注済みの改良効果検証業務に調査項目を追加して実施)

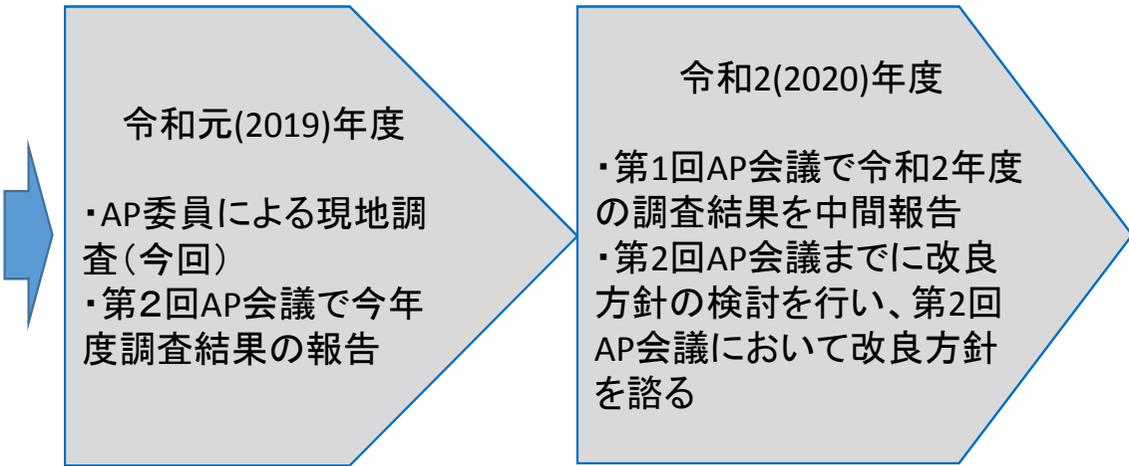
- ① 溪流縦断等測量
- ② 保全対象等の状況調査

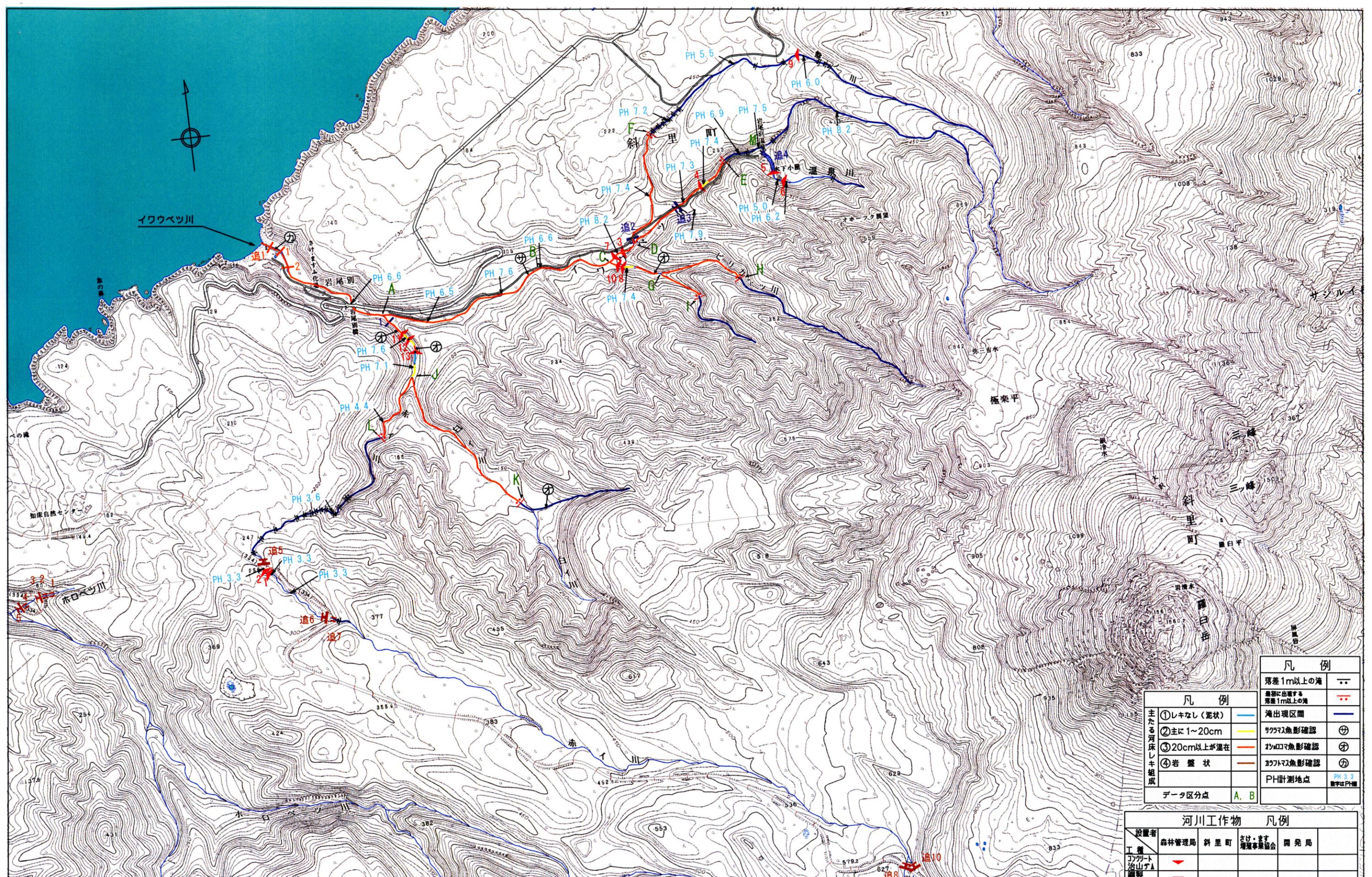
令和2年度調査項目

- ① 溪流横断等測量
- ② 荒廃森林調査
- ③ 地形・地質・土壌等調査
- ④ 水文調査
- ⑤ 産卵現況調査 など

(No3,No7ダムの現状(今年6月に現地確認))
No3ダム上流には土石流による巨礫が堆積し、No7ダム下流側は洗掘が著しい状況にあることを確認。

2 ダム改良方針決定までのスケジュール(案)





イワウベツ川

平成 17 年度	河川工作物WG	河 川 : イワウベツ川
図面名 :	河川工作物及び河川環境の状況	縮 尺 : 1 : 25,000

凡 例		凡 例	凡 例
①レキなし(泥状)	—	落差1m以上の滝	—
②主に1~20cm	—	最初に出湧する 落差1m以上の滝	—
③20cm以上が混在	—	滝出現区間	—
④岩 盤 状	—	サケマス魚影確認	⊕
		ヤママス魚影確認	⊗
		カワマス魚影確認	⊙
		PH計測地点	PH 3.3
		データ区分点	数字はPH値

河川工作物 凡例			
設置者	森林管理局	斜里町	さけ・ます 河川事業協会 開発局
工 種	コンクリート 治山ゲル	鋼製 治山ゲル	
流路工	—	—	—
橋 脚	—	—	—
その他	—	—	—



道路	—
橋梁	○
生産施設(居住)	●
生産施設(非居住)	○
民家	○
川岸からの距離(m)	L=
川からの高さ(m)	H=

設置者	森林管理局	斜里町	さけ・ます 増殖事業協会	開発局
工種				
コンクリート 治山ゲテ	▲			
鋼製 治山ゲテ	▼			
流路工	≡			≡
橋脚	≡			≡
その他	—			—

平成 17 年度 河川工作物WG 河川 : イウベツ川
 図面名 : 保全対象施設 縮尺 : 1 : 25,000